



## 企業経営における企業哲学とコンセプトという要求

令和6年3月24日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

GAFAM が自己を得た理由は、唯一彼らの有する企業哲学の結果である。哲学は独創性を基盤するものである。

これらは理解の深耕が、哲学を可能とすることにおいて、現実という可能性の創造を実現できることを理解すべきである。

これら企業哲学は自己の拡大を経て、現実への到達を与えるのである。

これらが真実であるならば今日の経済という現実は唯一大きな機会であり、変化は唯一自己が与えられる現実なのである。

これらが今日多くのベンチャーを与え、彼らがその独自性ととも新しい未来を希求することなのである。

独創性は、必ず独自理解という基盤と哲学を要求するのである。これらは企業における絶対的な強さであり弱さではないのである。

企業がその独立性を行うには、必ずその基盤を要求されるのである。独立性は必ずその独創性と創造性を与えるのである。

これら企業哲学な自己の企業風土を与えるものである。優れた人間性は企業の高い企業倫理性などにおいて、必ず優れた企業を与えるのである。

これらは企業が新しい時代へ参加することや、グローバル基準への参加を自己基準において実現する正しい条件なのである。企業は自己哲学において、グローバル基準に隷属することなく自己を行うことは必ずできるのである。これらはそれら企業が世界への貢献を有するのである。

これら企業哲学は、必ず理解基盤の蓄積を求めるのである。どのような理論においても、それらが机上の空論であることは決して現実を与えることはできないのである。

